

ごみの減量化・リサイクル対策 [新潟県・新潟市]

情報収集官署名：北陸農政局 新潟統計・情報センター地域課
☎ 025-224-1566

[取組主体]	
名 称	新潟地区広域清掃組合舞平処理場
取組の範囲	新潟市
開 始 年 度	平成15年度
[補助事業]	
支 付 主 体	国
補 助 事 業 名	ごみの減量化・リサイクル推進事業
計 画 名	新潟市一般廃棄物処理計画

1 取組目的と概要

(目的)

し尿汚泥や生ゴミをリサイクルするとともに、メタンガスや肥料を生成して有効利用を図り、資源を循環することを目的としている。

(概要)

新潟地区広域清掃組合舞平処理場では、平成15年12月からし尿・浄化槽汚泥と生ゴミ等の有機性廃棄物を併せてメタン発酵処理する汚泥再生棟が稼働している。

同施設では、給食センターなどから生ごみ(2.5 t/日)、新潟市などからし尿(3.0 t/日)を回収し、メタン発酵処理によりメタンガスを生産している。

生産したメタンガスは、ガスボイラーの燃料として使用され、温められた温水は、隣接する舞平処理場付属休憩所の入浴施設(日平均利用者約50名)や同施設内の給湯に利用している。また、メタンガスの一部はメタン発酵槽の暖房・保温にも利用している。

メタン発酵を終えた後に発酵槽から出る発酵汚泥は、コンポスト化して地域住民の希望者に一人当たり5袋を限度として無料で還元している。このコンポスト(1袋15kgで約20袋/日)は、同市の広報紙や一般紙などでPRした効果もあり、現在では生産が間に合わず予約待ちの状況である。

2 取組の効果

(効果)

メタン発酵によるメタンガス利用や、発酵後の残さはコンポスト化するなど資源循環型社会に対応している。

また、地域住民にコンポストを利用することにより、食品リサイクル資源循環型社会の取組への理解と啓蒙が図られている。

3 現在の課題と今後の展開方向

(課題)

現在、メタン発酵させる原料となる学校給食の残さ回収範囲を西新潟地区のみに限定していることから、回収量が少ないことが課題である。

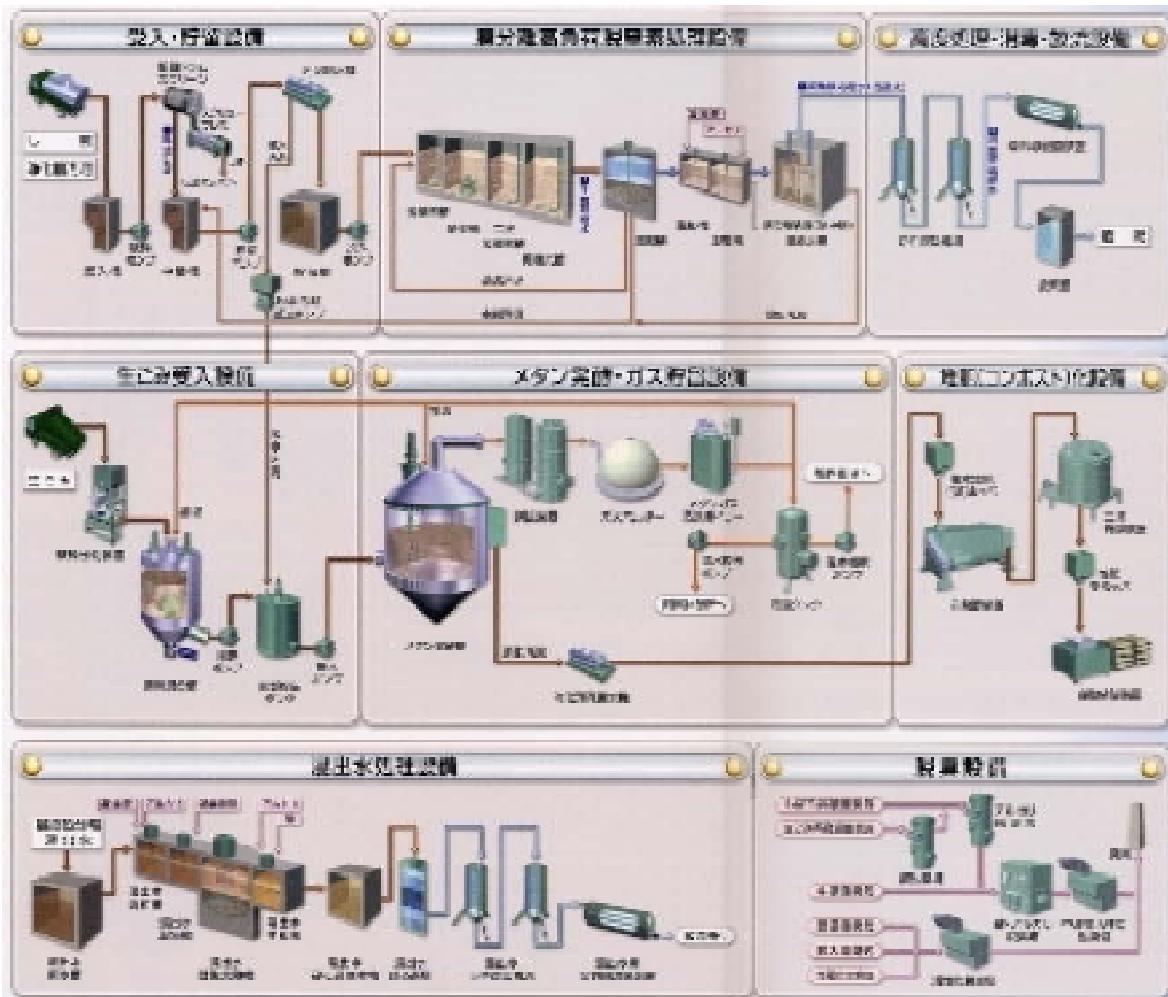
(展開方向)

学校給食の残さ回収範囲を東新潟地区、横越町、亀田町へ広げていくことを検討している。

「ごみの減量化・リサイクル対策」の施設概要

施設名称	舞潟処理場	設置主体	新潟地区広域清掃事務組合
運営主体	新潟地区広域事務組合	施設整備費	5,355,000千円
主な設備	前処理設備：破碎ポンプ、破碎分別等 発酵設備：膜分離高負荷脱窒素処理 等	稼働状況	1日の稼働時間：24時間 年間の稼働日数：365日

【施設のシステムフロー】



バイオマスの回収と再利用の流れ

バイオマス名	発生源	距離	発生量	収集・運搬方法	施設処理能力		
生ゴミ	給食センター等	8 Km	2.5 t / 日	収集運搬委託	1.8 t / 日		
	各校の給食施設	1 Km		収集運搬委託			
し尿	新潟市・亀田町・横越町	10Km	3.0 t / 日	清掃事務組合の車両で搬入			
再生バイオマス名	生産量	再生バイオマスの利活用先					
メタンガス	8,467 m³ / 月 (13ヶ月平均実績)	発酵槽の保温及び発熱用。ボイラ用として、付属施設の入浴施設用へ温水の給湯。					
コンポスト	約 9 t / 月	地域住民に無料配布。					